

「志摩市における観光と地域が一体となった持続可能な観光地としての価値創出事業」報告書概要版

1. 事業の概要

1-1 事業の目的

コロナ禍を経て世界的に持続可能な観光(サステナブルツーリズム)に対する配慮や意識が高まっている中、サステナビリティに関心の高い旅行者は、地域の本質に触れる深い体験価値や、観光を通じた地域への貢献を重視する傾向も強いとされている。他方でこうしたニーズを満たすだけでなく、我が国の豊富な地域資源を未来に継承していくためには、旅行者が自然・文化・歴史・産業等地域の本質を味わいながら、地域への貢献を実感できるコンテンツを造成するとともに、旅行者の観光行動による恩恵を地域の経済・社会・環境へ還元する好循環を加速していくことが重要である。

三重県志摩市は、伊勢志摩国立公園の豊かな自然を活用した海女漁や真珠養殖等を始めとする地域で受け継がれてきた歴史や文化をテーマにした体験や、水産資源の厳格な管理ルールにより守られてきた高付加価値な食材が宿泊・観光事業者により旅行者に提供される仕組み等、サステナブルツーリズムに資する資源や可能性を多く有している。また、オープンエアなアクティビティとしてサーフィンやシーカヤックが旅行者や修学旅行生から注目されるなど、コロナ禍によって生じた新たなニーズにも対応した持続可能な観光地経営に取り組んでいる。

一方、気候変動等から生じる海の環境の著しい変化による漁獲量の激減や、高齢化による地域産業の担い手不足などの課題も年々深刻化しており、これらの課題提起や解決に取り組むため、志摩市はSDGs未来都市(平成30年登録)、ゼロカーボンパーク(令和3年選定)として、環境保全や持続可能な観光地経営を目標に掲げ、環境負荷の少ない観光振興やCO2排出量の削減に力を入れている。

本業務では、環境保全や地域の持続性に資する旅行者自身の行動変容が地域に還元され、かつ旅行者自身が地域への貢献を実感できるような好循環の仕組みを実装したコンテンツ造成や、その魅力を旅行者に正しく伝えるための人材育成等、地域の価値継承に寄与する持続可能な観光の受入体制強化を図ることで、観光業と地域が一体となった持続可能な観光地経営の実現と選ばれる観光地としての価値を創出することを目的とする。

1-2 事業の内容

① 専門家及び外国人アドバイザー等による現地調査の実施

持続可能な観光に知見を有する専門家及び外国人アドバイザー等(以下「外国人アドバイザー等」という。)を招請し、既存の体験型コンテンツや、地域資源についてモニタリングを実施し、サステナブルな観光コンテンツとするための課題や改善点等を洗い出し、コンテンツ造成の基盤とした。

② コンテンツの企画・開発

①の調査結果を踏まえ、三重県志摩市において地域の自然環境、文化・歴史、伝統産業等の地域資源を活用したサステナブルな体験型観光コンテンツを3本以上造成した。造成したコンテンツは、いずれもコンテンツの内容や料金の一部に、旅行者が地域への貢献を実感できるような仕組みを実装するものとした。また、必要に応じ、コンテンツの体験価値を向上するための補助ツール(コンテンツ造成情報シート)を日本語及び英語で作成した。

③ 課題抽出のための外国人アドバイザー等によるモニタリング

②で企画・開発したコンテンツについて、外国人アドバイザー等によるモニタリングを実施し、コンテンツが訪日外国人旅行者にとって魅力的なものとなっているかの確認及び運営方法・体制等の課題の抽出・分析を実施した。この結果を基に更なるコンテンツの磨き上げを実施した。

④ 旅行商品造成及び販路形成のための旅行会社等の招請

旅行会社等を招請して、②で企画・開発し、③で磨き上げたコンテンツが訪日外国人旅行者にとって魅力的なものとなっているかの確認及び旅行商品として販売する際の課題の抽出を実施した。また、招請する旅行会社等において、本業務で造成したコンテンツを次年度以降に販売できるよう調整を行った。

⑤ 販売体制の構築

②で企画・開発し、③で磨き上げたコンテンツについて、④の分析結果を踏まえ、欧米豪及び東アジア・東南アジア市場を含む訪日インバウンド市場及び国内市場へ訴求する販売方法を検討し、販売に向けて受入関係者と調整を行う等、令和6年度内に販売を開始することを前提とした販売体制の構築を行った。

⑥ 多言語ホームページでの情報発信

志摩市観光協会ホームページ内に掲載するための、志摩市のサステナブルツーリズムのコンセプトや造成したコンテンツを紹介した多言語ページを作成した。また、市内宿泊施設や観光施設で上記のページを紹介する配布用カードの作成を行った。

⑦ 検討会の開催

中部運輸局、三重県、志摩市、専門家及び外国人アドバイザー等、(公社)三重県観光連盟、(公社)伊勢志摩観光コンベンション機構、(一社)志摩市観光協会、観光関連事業者等を構成員とした検討会を開催した。

⑧ サステナブルツーリズム推進のための勉強会の開催

企画・開発の一環として、観光事業者や宿泊事業者等を対象とした勉強会を開催し、サステナブルな観光コンテンツに対する理解を深め、志摩市におけるサステナブルな観光コンテンツ造成及びサステナブルツーリズム推進に向けた機運醸成につなげた。

⑨ 分析・考察

本業務を通じた分析・考察を行い、三重県志摩市における持続可能な観光の推進、旅行者の更なる滞在及び消費拡大に向けた方策についてとりまとめた。



図1 事業フロー図

1-3 事業実施スケジュール

本事業の実施スケジュールを以下に示す。

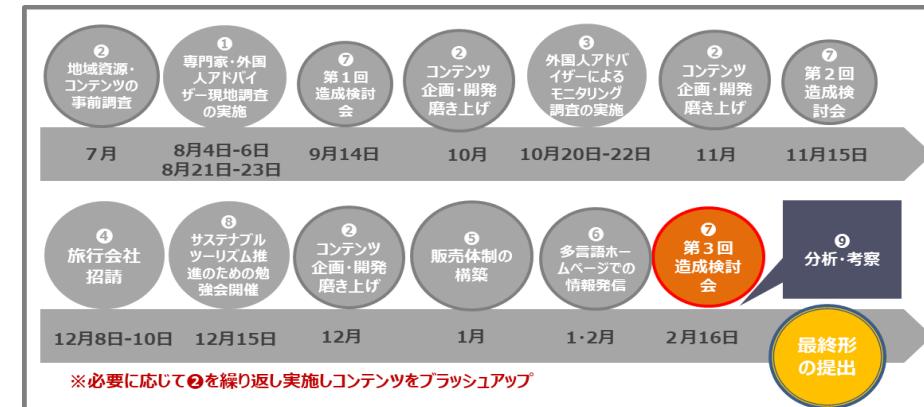


図2 事業実施スケジュール

1-4 事業実施体制

本事業の実施体制を以下に示す。

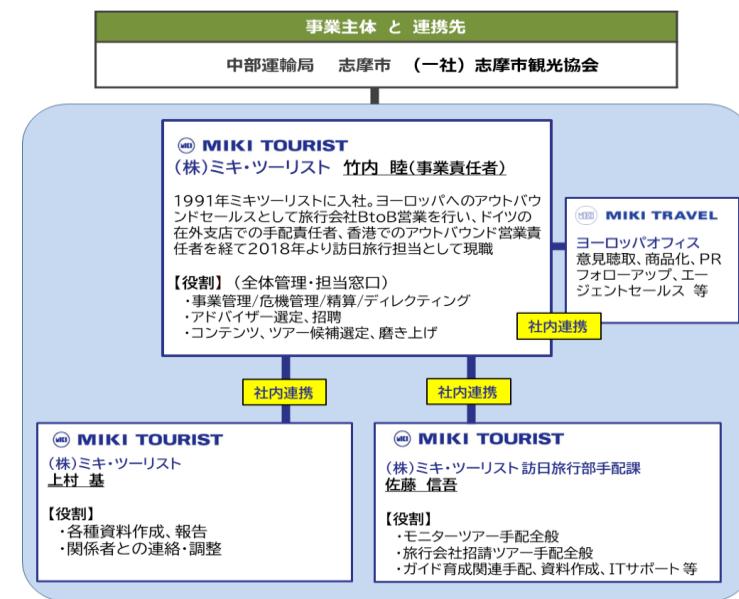


図3 体制図

<参考>

| サステナブルな観光コンテンツと好循環の仕組みづくりの考え方について | | |
|-----------------------------------|-------------------------|--|
| | 1. 地域資源への理解と配慮あるコンテンツ造成 | ・自然・文化等の地域資源の本質を感じられるコンテンツ ・地域資源の活用と保全・維持管理を両立したコンテンツ ・地域資源への貢献を旅行者が実感できるコンテンツ |
| サステナブルな観光コンテンツの造成と提供 | 2. 効果的な提供の方策 | ・コンテンツと親和性の高いターゲット設定 ・旅行者のニーズに対応したコンテンツ設計・提供 ・コンテンツの提供(販売)の仕組み構築 ・効果的なプロモーション |
| | 3. コンテンツ運営の人材・組織づくり | ・コンテンツに関わる人材の育成 ・コンテンツに関わる組織の育成 |
| | 1. 地域資源の利用と保全を両立する仕組み | ・自然・文化等の地域資源の高付加価値な利用と継承 ・地域資源の保全・維持管理の実施(負荷低減、ルールづくり等) ・観光収益の地域資源の保全・維持管理への再投資 |
| 好循環の仕組みづくり | 2. 地域環境保全への貢献 | ・観光を通じた地球環境保全(温暖化対策、廃棄物削減等) |
| | 3. 経済の循環 | ・観光消費の域内循環 ・観光を通じた雇用の創出・維持 |
| | 4. 交流の創出・拡大 | ・地域のファンづくりと交流人口や関係人口の増加 |
| | 1. 推進体制とステークホルダーの明確化 | ・事業の中心となる推進主体(事務局組織)の形成 ・事業者間の連携強化、組織の構築 ・地域住民による観光地経営への参画 |
| サステナブルツーリズムを推進する体制の強化 | 2. 方針の策定 | ・サステナブルツーリズムに関する取組方針・計画の策定と共有 ・行政計画への反映 |
| | 3. 意識醸成と人材育成 | ・行政・関係事業者の意識及び理解度向上 ・地域住民の意識及び理解度向上 ・サステナブルツーリズムを推進する教育・人材育成 |

「志摩市における観光と地域が一体となった持続可能な観光地としての価値創出事業」報告書概要版

2. 専門家及び外国人アドバイザー等による現地調査の実施

2-1 概要

＜目的＞
サステナブルツーリズムに知見を有する専門家・外国人アドバイザーを招請し、既存の体験型コンテンツや地域資源について現地調査を行うことで、実際にコンテンツを造成する際の課題点や改善点などをまとめる。

＜日時・参加者＞
・日時：令和5年8月4日(金)～6日(日)
・外国人アドバイザー マサボ イザベル
・日時：令和5年8月21日(月)～23日(水)
・帝京平成大学 観光経営学科 専任講師 全相鎮

マサボ イザベル Isabelle Massabo

テレビジョン株式会社 代表取締役社長 (仏)

ANTOR-JAPAN 駐日外国政府観光局協議会の事務局長も担当。世界各国政府主催の日本国内向けイベントや、番組のプロデュース、各種コンサルティング業務に加え、観光庁の「若者アワード(ワンダ)促進委員会」の委員としても活動している。的確な分析力とコメント力に定評がある。

全相鎮 Sangjin Zen

帝京平成大学 人文社会学部 観光経営学科 講師

東洋大学国際地域学研究所国際観光学専攻修士課程を修了。公益財団法人日本観光振興協会総合調査研究所にて研究員を務め、2020年より同研究所客員研究員として活動続ける。主な研究テーマは観光による地域振興。

現在教鞭をとる帝京平成大学での主な担当科目は地域振興と観光、観光行動論、異文化コミュニケーション、人間文化概論、日本と韓国の旅行産業、観光地の知見が豊富。観光統計の整備に関する検討委員会委員(観光庁)を歴任、数多くの地方自治体の各種観光統計調査に関わるなど、観光統計の実績が豊富。

2-2 アンケート調査結果

調査実施後、コンテンツ毎に専門家等が評価し、造成すべきコンテンツの参考となるよう評価と課題の抽出・分析等を行った。

表1 情報収集及びヒアリング結果(一例)

| プログラム名 | 内容・ポイント | 全相鎮氏(各項目10点満点/ サステナブルな取り組みのみ20点 合計60点) | | | | | マサボ イザベル氏(40点満点) | | |
|--------------------|--|--|---------------------------------------|------------|--------------------|--------------------------------------|------------------|---|--|
| | | ①志摩市ならではの歴史・文化、自然等を体験・説明できているか | ②欧米系からの外国人旅行者にとって魅力的かつ高付加価値な内容となっているか | ③継続的に実施可能か | ④地域の事業者に経済的な恩恵があるか | ⑤サステナブルツーリズムの取組が実感できるようなコンテンツとなっているか | 評価点合計(60点満点) | コメント(全相鎮氏) | コメント(マサボ イザベル氏) |
| 真珠の取り出し体験とアクセサリー作り | 美濃湾は真珠養殖の一大産地。我らに浮かぶアコヤ貝を自ら選び、取り出す体験をします。それはまさに宝探しゲーム(トレジャーハンティング)。真珠養殖の歴史や、真珠の育ち方など、地域を支える産業と地域の歴史・伝統・文化の一面をゲーム要素を交えながら楽しく学ぶことができます。 | 8 | 8 | 7 | 8 | 14 | 45 | ・自分で取り出したもので、加工(指輪やネックレス、ストラップなど)できるとより良いと感じた。また、高付加価値コンテンツの中でも考慮すべき課題と感じる。 | おみやげやプレゼントとして自ら作成できるのは楽しいコンテンツだと思えますが、アクセス方法が気になる。 |
| 先志摩半島漁師ツアー | 伊勢えび産地が盛んな漁師町の雰囲気を感じられるサイクリングツアー。先志摩半島の先端部に当たる御座では、美しい砂浜や、あずり浜のさらさらと歩く気遣いながらのサイクリングは格別です。遠征ツアーに入る上での地域の方々とのふれあいの機会も。ぜひこの貴重な体験をお楽しみください。 | 8 | 9 | 8 | 6 | 15 | 46 | ・先志摩半島の風景を感じながらのサイクリングは大変魅力的。特に、自然とアクティビティに対するニーズが高い欧米客向けとして大変魅力的なコンテンツ。 ・さほど地域住民との接点はないが、真珠産地、地域への経済的な効果をおぼる仕組みが必要。 | 地元の人達で賑わい始める地域の方々とどのくらい接点があるかがキーになると思います。 |
| 三重県水産研究所 アマモ場再生 | アマモ場は海の生き物の「ゆりかご」と呼ばれ、沿岸域で高い生産力を有する場所として注目されてきました。1960年代以降、アマモ場を含んだ浅海域の埋め立てが進行し、アマモ場の再生力を失った結果、重要な生態系が全壊してしまいました。沿岸漁業の低迷の一因とされています。サステナビリティへの関心が高まる今、アマモ場や、アオサ・リノ藻の現場を知ることで沿岸域の豊かさや大切さを学びます。体験ではガーゼ法といわれるアマモのタネをダンゴ状にして千両近くの高層に撒き、再生させる取組を見学します。 | 6 | 7 | 9 | 5 | 15 | 42 | ・SDGsの観点から非常に貴重な体験、見学ではあるが、他地域の取組みとの差別化が課題。 ・地域への経済的な効果をおぼる仕組みが必要。 | 説明内容をコンパクトにまとめ、情報を整理して案内ができれば素晴らしいコンテンツになると思います。 |

3. コンテンツの企画・開発

3-1 調査概要

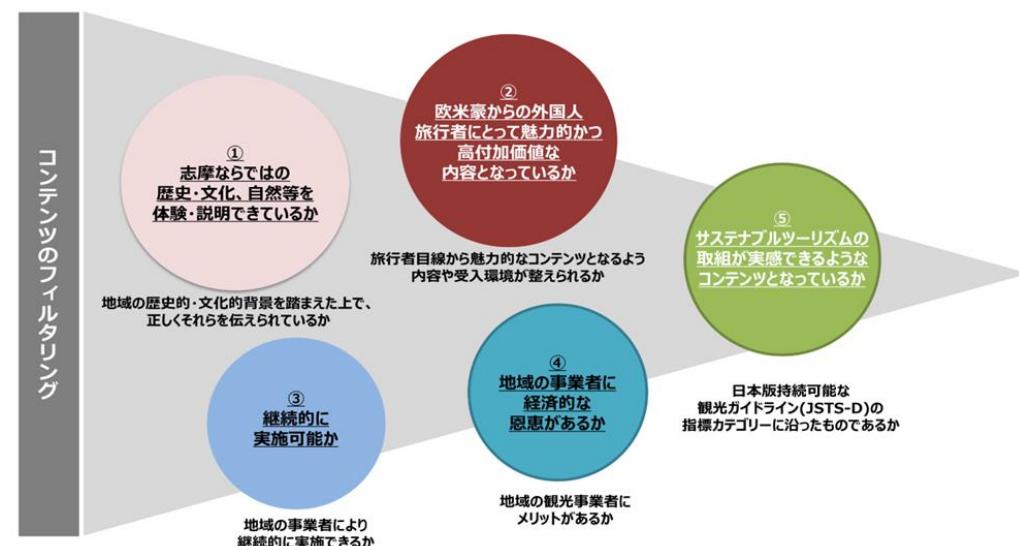
コンテンツ候補に対して、次のような具体的なフローや基準に基づいて調査・とりまとめを行った。

- ① 専門家による現地調査を実施、地域資源の洗い出しを行い、専門家、外国人アドバイザーによる選考を実施。事業者への事業説明。また、地域の観光関係者への事前調査による資源の洗い出しも実施した。
- ↓
- ⑦ 第1回コンテンツ造成検討会では、検討会メンバーの顔合わせと事業概要の確認選定基準によりフィルタリングされたコンテンツ候補を提案し、ご意見を頂いた。
- ↓
- ② モニタリング調査実施に向けた事業者への事業説明と理解を深めた。
- ↓
- ③ 外国人アドバイザーや、国内在住外国人によるモニタリング調査を実施。アンケート調査により、運営や体制面の課題の抽出を行った。
- ↓
- ⑦ 第2回の造成検討会にてコンテンツ精査。
- ↓
- ④ 旅行会社社招請で提供し、商品化への課題を抽出、さらに磨き上げを実施。
- ↓
- ⑧ 受入れ体制の強化と機運醸成を目的としたサステナブルツーリズム推進の勉強会を開催。
- ↓
- ② 事業者へ課題解決に向けたアクションプランを実施、磨き上げを行った。
- ↓
- ⑤ 地域観光協会を選定し、販売ツール(ウェブサイト)の作成と販売体制の調整を行った。
- ↓
- ⑥ 完成したコンテンツをサイトで発信できる形に仕上げた。
- ↓
- ⑦ 第3回造成検討会にてコンテンツ完成報告。
- ↓
- ⑧ 事業の分析と考察。



図4 具体的なフロー

図5 コンテンツ選定基準



3-2 地域資源調査

三重県志摩市において地域の自然環境、文化・歴史、伝統産業等の地域資源を活用したサステナブルな体験型観光コンテンツを造成するため、地域資源の洗い出しを行った。

| 地域 | 農林水産物 | 鉱工業品及び鉱工業品の生産に係る技術 | 文化財、自然の風景地、温泉その他の地域の観光資源 |
|-----|--|---|---|
| 志摩市 | 真珠、伊勢えび、鳥羽・志摩のかき、あわび、伊勢茶、ひじき、ありのぶく、あおさ(ひとえぐさ)、わかめ、あらめ、なまこ、松原貝(ひおうさがい)、海ぶどう、さば、アカセウ、さざえ、ひろめ、パールボーク、岩がき、加茂牛、三重オクラ、特別栽培トマト「珠光」、サメ | 伊勢の根付、干しいも(きんこ)、伊勢志摩の干物、伊勢志摩の郷土寿司、貝細工、塩辛、船越みそ | 鳥羽志摩の海女、安乗埼灯台、大王埼灯台、御座白浜、リアス式海岸の英虞湾、海女小屋、伊雑宮御田植祭、安乗の人形芝居、再生干潟 |

表2 三重県志摩市における地域資源指定一覧

3-3 コンテンツ候補リスト及び評価

コンテンツ候補となった地域資源のリスト及び専門家及び外国人アドバイザーによる評価は、以下の通り。

| 番号 | プログラム名(案) | 全相鎮氏(各項目10点満点/ サステナブルな取り組みのみ20点 合計60点) | | | | | マサボ イザベル氏(40点) | | 評価合計点(100点満点) |
|----|----------------------|--|--------------------------------------|------------|-------------------|-------------------------------------|----------------|--------------------------------------|---------------|
| | | 志摩ならではの歴史・文化、自然等を体験・説明できているか | 欧米系からの外国人旅行者にとって魅力的かつ高付加価値な内容となっているか | 継続的に実施が可能か | 地域の事業者に経済的な恩恵があるか | サステナブルツーリズムの取組が実感できるようなコンテンツとなっているか | 評価点合計(60点満点) | 欧米系からの外国人旅行者にとって魅力的かつ高付加価値な内容となっているか | |
| 1 | サイクリング「安乗岬と田園ロード」ツアー | 7 | 8 | 7 | 7 | 16 | 45 | 30 | 75 |
| 2 | さとうみ庵(海女小屋体験) | 9 | 7 | 8 | 9 | 16 | 49 | 30 | 79 |
| 3 | 和貝漁港 競り市見学・網さばき体験 | 7 | 8 | 7 | 7 | 15 | 44 | 30 | 74 |
| 4 | 横山展望台・横山ビジターセンター | 7 | 8 | 9 | 5 | 14 | 43 | 35 | 78 |
| 5 | Rays Farm (レイズファーム) | 9 | 10 | 9 | 9 | 19 | 56 | 35 | 91 |
| 6 | 大王町波切漁港周辺の散策 | 9 | 9 | 7 | 7 | 14 | 46 | 30 | 76 |
| 7 | 志摩市から見る富士山 | 6 | 7 | 8 | 5 | 12 | 38 | 30 | 68 |

表3 コンテンツ候補と評価(一例)

「志摩市における観光と地域が一体となった持続可能な観光地としての価値創出事業」報告書概要版

3-4 コンテンツ造成情報シート

コンテンツ候補リスト及び評価の結果より、造成するコンテンツ案を検討し、外国人アドバイザー等によるモニタリングや旅行会社等の招請を経てコンテンツを造成した。

4-2 モニタリング調査結果

モニタリングにより、以下のとおり各コンテンツの課題や改善点を整理した。

図6 モニタリング参加者アンケートの分析（一例）

表4 コンテンツ造成情報シート

| 【日本語】 | | 【英語】 | |
|--|--|------|--|
| <p>「Single title」 Learning about the Traditional Japanese Craftsmanship at Kohori Woodworking Studio (Kumiko Woodworking Experience)</p> | | | |
| <p>Business name 一竹造作研習会 (Shima City Tourism Association) 英語名 Shima Tourism Association Contact address TEL: 059-36-3465 E-Mail: sy-yamamoto@shima-city.com HP address: http://www.shima-city.com</p> | | | |
| <p>Meeting & Termination place Kohori Woodworks office separated from architectural future manufacturing to create meticulously handmade, beautiful, and durable wooden daily necessities. Their distinctive lattice work technique involves no adhesives or coloring agents, highlighting the natural advantages such as using the grain of fir for finishing. Guests experience the warmth of the Kohori family's hospitality, engaging in labor work experiences, then admire the intricate works of Mr. Kohori, respect of the time Master's time, offering a renewed appreciation for craftsmanship.</p> | | | |
| <p>Sales points 1. The address following the content title of the activity Experiences traditional lattice work craftsmanship techniques. 2. Three points that other products do not have in this content. ① You can experience the beauty of traditional lattice work craftsmanship and explore sustainability through the use of natural materials. ② The work is crafted by skilled artisans, leaving visitors in awe of their meticulous craftsmanship and intricate designs. ③ By admiring the intricate works of Mr. Kohori, visitors can rediscover the beauty of handmade craftsmanship.</p> | | | |
| <p>Implementation period (month) Departure (start) time 9:15 Time Details 9:15 Meet at Ugetsu Station, in front of Shima City Tourist Info. 9:27 Travel by public bus with the guide (approximately 15 minutes). 9:50 Arrive at Kohori Woodworks. 10:15 Learn about the history of Kohori Woodworks and admire the KUMIKO workshops. Experience making KUMIKO coasters with a work kit. 11:15 Walk to the bus stop. 11:28 Depart from Hamajima Junior High School and travel by public bus with the guide (approximately 18 minutes). 11:50 Terminate at Ugetsu Station. With guide? <input checked="" type="checkbox"/> WITH <input type="checkbox"/> WITHOUT <input type="checkbox"/> ENGLISH OK <input type="checkbox"/> Other language () Supported level <input type="checkbox"/> Pre-Intermediate <input type="checkbox"/> Intermediate <input checked="" type="checkbox"/> Advanced Inquire language partner <input type="checkbox"/> English <input type="checkbox"/> French <input type="checkbox"/> Spanish <input type="checkbox"/> German <input type="checkbox"/> Other language () What is included in the participation fee? Entrance spot: <input type="checkbox"/> None <input type="checkbox"/> Others: _____ What is not included? Lunch <input type="checkbox"/> Dinner <input type="checkbox"/> None <input type="checkbox"/> Others: _____ Things to bring: None Duration: About 2 hours 30 minutes. Maximum age: 6 person. Participation fee (Sales price/public price): In case of 2people per jaw 30,000 Yen (Price for subsidy only) In case of 4people per jaw 17,000 Yen (Selling price/public price) if available. Minimum age: 2 jaw Sales condition: <input type="checkbox"/> Advance <input checked="" type="checkbox"/> Request on-site Sales commission: 10% Sales channel & method: <input checked="" type="checkbox"/> Internet direct <input checked="" type="checkbox"/> Agency sales Credit card payment: <input checked="" type="checkbox"/> VISA <input checked="" type="checkbox"/> MASTER <input type="checkbox"/> JCB <input type="checkbox"/> Others: () Online payment <input type="checkbox"/> Cash <input checked="" type="checkbox"/> Bank transfer Contact & Reservation: Reservation WEB site (order confirmation) <input checked="" type="checkbox"/> E-mail <input type="checkbox"/> Web site <input type="checkbox"/> TEL Advance payment of course materials: <input type="checkbox"/> None <input checked="" type="checkbox"/> None (e.g.) Information required for insurance enrollment, address, age, height, etc. Cancellation policy: <input type="checkbox"/> 5 days <input type="checkbox"/> 1 week <input type="checkbox"/> 10 days <input type="checkbox"/> 2 weeks Reservation deadline: Up to the date of service 30 days prior (since then request-based) Image materials for sales: <input checked="" type="checkbox"/> Yes <input type="checkbox"/> None *Can be downloaded from WEB SITE Emergency contact on the day: TEL: _____ to be advice after the confirmation. E-mail: _____ Notes: _____</p> | | | |

*本表について：2024年1月現在の情報に基づいており、内容は随時変更される可能性があります。本表はあくまで参考情報としてご利用ください。

1. 横山展望台 ■横山ビジターセンター【コンテンツ候補】

体験内容 (ガイドなし)

横山ビジターセンターは、各種展示、体験プログラムや映像を通して、入り組んだリアス海岸や里山の生態系など、伊勢志摩国立公園の自然の特徴や歴史、文化を紹介しています。また、展望台の周囲には近畿自然歩道につながるトレッキングコースもあり、地域の特徴的な植生を楽しみながら自然にふれあうことができます。

ここでは、まず同行の通訳案内士（ガイド）より、展示物の紹介しながら、この地域の産業や、人々の暮らし、自然環境等の概要を説明しました。

外国人モニター評価点

- Athena Funtowicz 8点
- Benjamin Wilson 9点
- Dan Lewis 9点
- Stephen Carter 8点
- Tanja Mildenerberger 7点

平均点：8.2点

参加者の評価

■美しい景色を評価し、この地域の地理について興味深く学んだ。ビジターセンターは特に4Dシアターとそのインタラクティブな機能が高評価。

■地域の環境変化や持続可能な取り組みに関する情報など、教育的な側面についても好意的であった。ツアーを地域の概要からスタートさせたのは賢明な判断であり、その眺望は高く評価された。

■ツアーは良かったが、特別なものではなかったと感じた。さらに、急な坂道があるため、車椅子でのツアーには向かないかもしれないとの指摘もあった。

実施に際しての課題

■障害者のためのバリアフリーの改善を求める声もあり、山を移動するためのバスや代替交通手段を希望する声もあった。

■周辺の美しい自然を散策する時間をもっと欲しいという意見もあり、周辺を長時間歩くことを希望する参加者もいた。

■道が狭いため、展望台駐車場への出入りの交通の流れを懸念する意見が出された。当初からウォーキング・バスを取り入れ、持続可能性のテーマと統合することを推奨した。

■この地域についてもっと情報が欲しいと要望した。

■全体として、アクセスしやすさと自然環境のより深い探索に重点を置いた、より包括的で没入的なツアー体験であった。

4. 課題抽出のための外国人アドバイザー等によるモニタリング

4-1 実施概要

- ① 目的
 持続可能な観光に知見を有する国内在住の外国人アドバイザーを招請し、志摩市内のサステナブルな観光に資する観光資源や、コンテンツ素材を体験してもらい、磨き上げの対象となるコンテンツ候補を調査する。その後、コンテンツ選定基準に沿った評価を点数化し、順位付けを行い、その上位となったコンテンツを今後の磨き上げの対象とする。
- ② 日時・参加者
 ・日時：令和5年10月20日(金)～22日(日)

表5 参加者概要

| Name | Sex | Age | Country | Interest in sustainability | 持続可能性への関心 |
|----------------------------|-----|-------|---------------|--|--|
| Athena Funtowicz | F | 27 | USA | I actually am very interested in sustainability! I do volunteer trash pickups and am very passionate about the environment! Food sustainability in Japan is particularly a serious concern of mine. I would love to hear more details about how sustainability will encompass the trip! | 実は持続可能性にとっても興味があるんだ！ボランティアでゴミ拾いをしたり、環境についてもとても熱心です！日本の食の持続可能性は、特に私の深刻な関心事です。持続可能性がどのように包含するのかが、もっと詳しく聞きたいです！ |
| Benjamin Wilson | M | 36-40 | USA | I think sustainability is important, especially since there are now so many humans in the world. I think it's important for us to take care of the world and the plants and other animals that live in it. I think it's especially important to teach younger people about sustainable living methods so that they can keep them in mind for the future. The earth has so many rich things we can enjoy and use to improve our lives, and we should make sure and preserve those things and help the earth maintain balanced ecosystems, so that younger generations can enjoy them and benefit from them as well. | 持続可能性というのは重要だと思う。私たちは世界やそこに住む植物や動物を大切にすることが大切だと思います。特に若い人たちに持続可能な生活方法を教えることは、将来に向けて心に留めておくためにも重要だと思います。地球には、私たちが楽しみ、私たちの生活を向上させるために利用できる豊かなものがたくさんあります。私たちはそれらを確実に保護し、地球がバランスの取れた生態系を維持できるように手助けをするべきです。 |
| Stephen Carter | M | 58 | USA / Ireland | Our ecosystems -- the oceans in particular -- are headed toward collapse. It's going to be bad, and the only way we can mitigate how bad it will be is to implement sustainability measures in every way we can. | 私たちの生態系、とりわけ海洋は崩壊に向かっている。そして、それがどの程度悪化するかを緩和する唯一の方法は、あらゆる方法で持続可能な対策を実施することである。 |
| Tanja "Tee" Mildenerberger | F | 32 | Germany | I guess I care about the future of following generations but also animals etc. Its a bit unfair that they will have to deal with things that they didn't cause or do. I think if everybody would change their habits a bit lots of problems could at least be reduced (pollution, plastic waste, climate change, animal extinction etc) | 私は次の世代の未来を心配しているのだと思う。自分たちが引き起こしたわけでも、やったわけでもないことに対処しなければならないのは、ちょっと不公平だ。みんなが習慣を少し変えれば、多くの問題は少なくとも減らすことができると思う（汚染、プラスチックゴミ、気候変動、動物の絶滅など） |
| Dan Lewis | M | 50 | USA | | |

2. 小堀木工所（浜島）【コンテンツ候補】

体験内容 (ガイド付き)

小堀木工所は、建具製造で培った技術を生かした日用品を製造している。1点1点、丁寧に手作りで製造される美しく丈夫な木製の日用品を製造。また、日用品は組子の場合は接着剤を使用せず、寄木等の接着剤には天然素材ののりを使用しており、仕上げには米ぬか油を使用しています。

ここでは、小堀家の皆さんの温かいおもてなしの中で、組子細工の体験を行いました。その後、小堀さんの精巧な細工の数々を見せて頂き、あらためて手仕事の素晴らしさを一同実感しました。

外国人モニター評価点

- Athena Funtowicz 10点
- Benjamin Wilson 10点
- Dan Lewis 9点
- Stephen Carter 8点
- Tanja Mildenerberger 10点

平均点：9.4点

参加者の評価

■最初は木をくっつけるのに苦労したが、ホストの忍耐と協力が参加者に達成感を与えた。ホストが自分たちの知識や専門技術を積極的に分かち合い、充実した環境を作ってくれたことに非常に満足できた。

■体験型アクティビティは楽しみの要素に加え、さまざまなプロジェクトを披露してくれたホストの寛大さに大喜びだった。日本での出会いは、印象に残る本物のものだった。実地体験は、現地の人々との有意義な交流を育みながら、難易度のバランスをうまくとっていた。■最初のハードルにもかかわらず、達成感を共有できた。温かいもてなしで知られる小堀夫妻は、時間と知識を惜しみなく分かち合い、参加者に感謝の気持ちを残した。コースター作りや組子作りの体験は、特にハイライトになった。

実施に際しての課題

■ホストが子どもたちと一緒にこの事業を続けるつもりはないと聞いてがっかりした。同じような、より手頃な代替のものを他で見つける可能性についても指摘した。大工の職人技は高く評価され、ある参加者はその熟練の技を称賛した。

■大工の技術をビデオやドキュメンタリーで紹介してほしいという要望があった。活動の構成について、別の参加者はより体系的なアプローチを提案した。まず準備過程の徹底的な説明と実演を行い、その後体験活動を行うことを勧めた。また、職人技をより深く理解するために、展示作品を見学することも提案された。

■体験の際、前かがみの姿勢がとても辛かった。特に背の高い人用に椅子を用意した方がよい。さらに、職人の作品を購入したいという意見もあり、指定販売所の設置が提案された。

「志摩市における観光と地域が一体となった持続可能な観光地としての価値創出事業」報告書概要版

5. 旅行商品造成及び販路形成のための旅行会社等の招請

5-1 実施概要

- ① 目的
旅行会社スタッフを招請し、造成されたコンテンツを実際に体験してもらい、旅行商品の造成に向けたPRを行う。また、自社商品に採用いただくにあたって必要なポイントや、評価・改善すべき点をアンケート調査により抽出し、更なる磨き上げを実施、旅行商品としてのコンテンツの完成度をより高める。

- ② 日時・参加者
・日時：令和5年12月8日(金)～10日(日)

表6 参加者概要

| 性別 | Surname | First name | 会社名 | 会社概要 |
|------|----------------|------------|---------------------|---|
| 1 Ms | Dewi Maharani | Susanto | 株式会社 HANATOUR JAPAN | 韓国最大の旅行会社の訪日手配旅行会社。近年欧米豪市場から日本への送客に力を入れています。 |
| 2 Mr | IWASHITA 岩下 | MASARU 勝 | THE J TEAM 株式会社 | ザ・ジェイチーム株式会社は2009年7月に創立されたDMC。オセアニア、欧州各国からのお客様をお迎えする訪日ランドオペレーター。レジャー、MICEを得意とする。 |
| 3 Ms | AIZAWA 会澤 | KIYOMI 聖美 | アヤベックス株式会社 | 京都府綾部市に本社を構え、東京/大阪支店と国際色豊かなスタッフ約40名程のインバウンド専門のツアーオペレーターです。世界中の約60か国以上の旅行会社とネットワークがあり(DMC)事業部ではグループ・FIT・MICE・ラグジュアリーなど、各種テイラーメイドの手配全般を取り扱っております。 |
| 4 Ms | Vinetti ヴィネッティ | Maria マリア | 株式会社 JAPANISSIMO | イタリア・スペインからのFITを中心に扱う訪日旅行専門のツアーオペレーター。また、各種ヨーロッパ言語のガイド育成事業も自ら手掛け業務拡大に向け注力しています。 |
| 5 Ms | FUKUI 福井 | KAYO 佳代 | 名鉄観光サービス株式会社 | 名鉄観光サービス株式会社は全国に43都道府県に営業拠点を持つ旅行会社。コロナ以降は中京圏を中心としたインバウンド事業での実績を全国での展開に注力している。 |

5-2 アンケート調査結果

ツアーに参加した方々の各コンテンツに対する意見を集約・整理した。

図7 モニタリング参加者アンケートの分析（一例）

1. 横山ビジターセンター（志摩、伊勢志摩国立公園の概要を広く学ぶ）

体験内容 (ガイド付)

横山ビジターセンターでは、各種展示、体験プログラムや映像を通し、リアス海岸や、里山の生態系など、伊勢志摩国立公園の自然や歴史、文化を紹介している。周囲には近畿自然歩道につながるトレッキングコースもあり、地域の特徴的な植生を楽しみながら自然とふれあうことができる。

ここでは、同行する通訳案内士（ガイド）が展示物の紹介しながら、地域の産業や人々の暮らし、自然環境等の概要を説明する。

○評価点（平均点）

- コンテンツの満足度 8.4点
- サステナブルツーリズムへの対応度 9.2点
- お勧め度 8.4点
- 総合平均点 8.7点

＜良い点＞

- ビジターセンターの壁には志摩市の大きな地図が貼っており、とても分かりやすかった。
- VR映像は動画にて伊勢志摩の景色の素晴らしさを感じられ、隣の部屋の説明が完全に英語で翻訳されていて良かったと思う。
- 最初に横山展望台を訪れることは、ツアーの全体像をつかむ上で非常に有意義であった。横山展望台自体は（荒天時を除き）訪問すべきスポットであることは間違いない。

＜改善点＞

- 展望台までの経路は、お客様によっては歩行困難な方も少なくなく、今後のインフラ改善（特に交通弱者への対応）に大いに期待する。特に右段の作りが登る方にとって不親切であるように感じた。
- 展望台までの道は階段が多く、自然に興味のある海外からの観光客は40歳以上の方が多く、状況を見ると高齢者には厳しいと思う。

＜提案＞

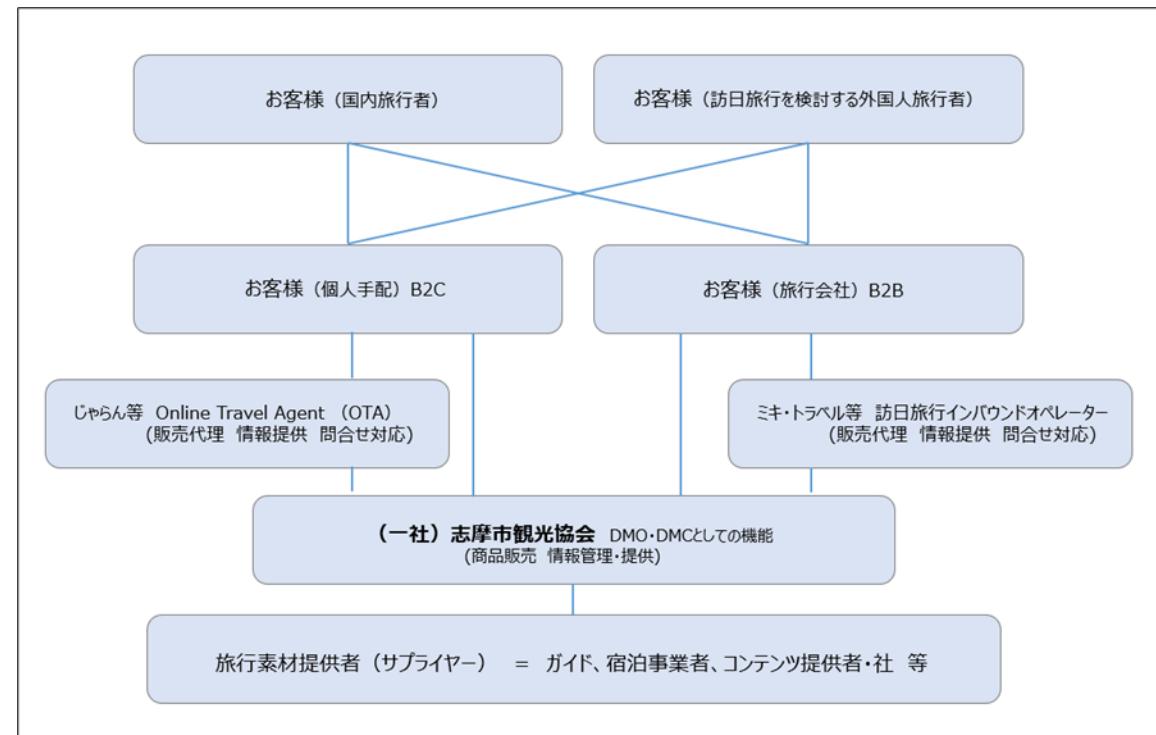
- ビジターセンターは、海女さんや真珠養殖等の紹介も、もう少し入れて後継者問題等、サステナブルなコンテンツを入れるべきだと思う。
- 500円タクシーで展望台に行けるプランがあった。この気軽に掛けられるプランが定着するまで継続して実施して欲しい。

サステナブルなコンテンツを更に磨き上げるために必要なポイント

6. 販売体制の構築

- 次年度以降の販売体制
企画・開発し、磨き上げたコンテンツについて、旅行商品造成のための旅行会社等の招請の分析結果を踏まえ、欧米豪市場及び国内市場に向けた販売に向け、販売の主体となる（一社）志摩市観光協会、コンテンツの受入の各事業者と販売に向けた調整を行った。また、令和6年度以降、販売を開始することを前提とした販売体制の構築を行った。

図8 販売体制の概念図



7. 多言語ホームページでの情報発信

7-1 多言語ホームページの作成

志摩市観光協会ホームページ内に掲載するための、志摩市のサステナブルツーリズムのコンセプトや造成したコンテンツを紹介した多言語ページを作成した。また、市内宿泊施設や観光施設で上記のページを紹介する配布用カードの作成を行った。

図9 多言語ホームページ（一例）



「志摩市における観光と地域が一体となった持続可能な観光地としての価値創出事業」報告書概要版

7-2 配布用スタンドとカードスタンドの作成

多言語ホームページの告知のため、市内宿泊施設や観光施設でウェブページを紹介する配布用カードを作成するとともに、合わせてカードスタンドを作成した。

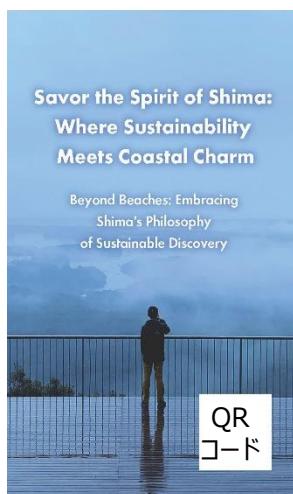


図10 配布用カード



写真1 カードスタンド

8. 検討会の開催

8-1 概要

中部運輸局、三重県、志摩市、専門家及び外国人アドバイザー等、(公社)三重県観光連盟、(公社)伊勢志摩観光コンベンション機構、(一社)志摩市観光協会、観光関連事業者等を構成員とした検討会を開催した。

表7 検討会実施概要

| 持続可能な観光コンテンツ等造成検討会日程 | | | | |
|----------------------|------------------------------|-------------------|------|---|
| | 時間 | 場所 | 参加人数 | テーマ |
| 第1回 | 令和5年9月14日(木) 13:30~15:00 | 阿児アリーナ第3会議室 | 15人 | ・事業概要及びスケジュールについて ・地域資源及びコンテンツの調査・分析結果について ・その他 |
| 第2回 | 令和5年11月15日(水) 13:00~15:00 | クインテッサ伊勢志摩2階ハーモニー | 14人 | ・モニターツアー実施報告 ・旅行会社招請ツアー実施案について ・持続可能な観光推進のための勉強会について ・その他 |
| 第3回 | 令和6年2月16日(金) 13:30-15:30 | 阿児アリーナ第1会議室 | 14人 | ・各業務の実施報告(持続可能な勉強会、旅行会社招請ツアー) ・造成されたコンテンツについて ・今後の販売体制と課題について ・その他 |



写真2 検討会の様子

9. サステナブルツーリズム推進のための勉強会の開催

① 目的

観光事業者や、宿泊事業者を対象とした勉強会を開催し、持続可能な観光コンテンツに対する理解を深めつつ、志摩市におけるサステナブルツーリズム推進に向けた機運醸成を目的として実施した。

② 開催概要

- ・日 時：第一部 令和5年12月15日(金)10:00-12:00／第二部 同日14:00-15:30
- ・会 場：クインテッサ 伊勢志摩 (志摩市 阿児町鶴方1210-1) 2Fハーモニー
- ・講 師：大雪山自然学校・代表理事 荒井一洋氏
(GSTC公認トレーナー・Asian Ecotourism Network 理事・日本エコツーリズムセンター理事)

■講師プロフィール

荒井一洋氏 (あらい かずひろ)

大雪山自然学校・代表理事
(GSTC公認トレーナー・Asian Ecotourism Network理事・日本エコツーリズムセンター理事)



1977年生まれ。札幌市出身。ニュージーランド・Lincoln University・Bachelor of Parks, Recreation, Tourism Management(国立公園管理と自然保全専攻)を2000年に卒業。2010年、北海道大学大学院・観光創造専攻修士課程にて「エコツアーのコスト構造とシャドーワーク」について研究。北海道東川町に移住し、2001年に「大雪山自然学校」を設立し、2015年にNPO法人化。全国各地でサステナブルツーリズムや、エコツアー、自然体験プログラム等の講演多数。GSTC国際認証公認トレーナーとして、秋田県仙北市、長崎県島原半島、北海道東川町でGSTC研修を実施。事業者や旅行会社を対象に持続可能性について審査を行う国際認証団体、Travelifeの公認検査員。

③ 講義内容

- 第一部 入門編 (座学を中心とした講義形式)
テーマ：「サステナブルツーリズムとは～現在と未来～」
- 第二部 応用編 (グループワーク形式)
課題：「旅行をデザインする 受入れ側の役割を考える」



写真3 勉強会の様子

「志摩市における観光と地域が一体となった持続可能な観光地としての価値創出事業」報告書概要版

10. 分析・考察

10-1 概要

本事業では、持続可能な観光に関心を持つ訪日外国人旅行者及び国内在住者をターゲットに、外国人モニターツアーや旅行会社招請ツアー、検討会等を実施することにより、マーケットニーズの把握、分析、検討による改善を図った。また、地域の観光協会、観光事業者、観光関連団体、行政等と連携しながら関係者の理解と協力を得て事業を実施し、志摩市が保全する地域資源を活用したサステナブルな観光を体験できるコンテンツを7本、モデルツアーを1本造成した。

本項では、業務を通じた分析・考察を行い、三重県志摩市における持続可能な観光の推進、旅行者の更なる滞在及び消費拡大に向けた方策についてとりまとめた。

10-2 造成したコンテンツのサステナブルなポイント

本事業では、観光利用と地域資源の保全を両立させ、旅行者の観光行動による恩恵を地域の経済・社会・環境へ還元する高付加価値な体験等のコンテンツを造成し、持続可能性の向上に資する好循環の仕組みづくりの検討を行った。

| 項目 | 具体的な取組状況やP.R.ポイント |
|--------------------------|---|
| 造成した各コンテンツにおける好循環の仕組みづくり | <p>○小堀木工所にて伝統工芸の技術継承の現状について学ぶ（組子づくり体験）</p> <p>○コンテンツ提供先と体験者の交流による伝統工芸への理解促進 →組子体験をきっかけとした製品購入による事業者の収益の創出 →組子体験を通して次世代の担い手（後継者）を発掘し、技術の継承に貢献</p> <p>○まちづくり団体「じゃまテラス」による大王崎・波切まちなるきツアー</p> <p>○コンテンツ提供者（じゃまテラス）との交流を通じたファンクラブによる関係人口の創出 →観光収益を得ることで、事業者の運営資金を確保し、観光資源でもある地域資源（町並みや大王崎の環境保全）を保全・維持管理する活動に貢献</p> <p>○真珠養殖の中心地として栄えた英虞湾に浮かぶ間嶋島—その歴史やその現状を学ぶ—</p> <p>真珠の養殖を業とする事業者が新たに観光収入を得ることで、養殖事業の持続性・継続性を担保し、地域経済の循環に寄与</p> <p>○安楽人形浄瑠璃 特別貸切体験プログラム（安楽人形芝居保存会によるワークショップ）</p> <p>○コンテンツの体験を通して次世代の担い手（後継者）を発掘し、伝統文化の継承に貢献 →コンテンツ提供者（保存会）との交流による伝統文化への理解促進 →保存会の交流を通じたファンクラブによる関係人口の創出 →保存会が観光収益を得ることで、運営資金を確保し、伝統芸能の保存活動の持続性・継続性への再投資に貢献</p> <p>○矢向湾に面した「うらの浜」のビーチクリーニング体験</p> <p>自治会が観光収益を得ることで、恒久的なビーチの清掃費用等、持続性・継続性への再投資に貢献 →持続可能な地球環境の改善に寄与できるプログラムの造成</p> <p>○志摩で育まれた「たて藍」を体験するワークショップ @ @Rays Farm</p> <p>観光交流施設等との連携強化及び地域経済循環の促進 →コンテンツ提供者との交流を通じた地域のファンづくりによる交流人口や関係人口の創出</p> |

10-3 事業考察

① コンテンツ磨き上げの経緯（共通）

コンテンツのさらなる磨き上げのためのポイントについて課題別にまとめ、地域の事業者と共に行った取り組みについて、下記の図により示している

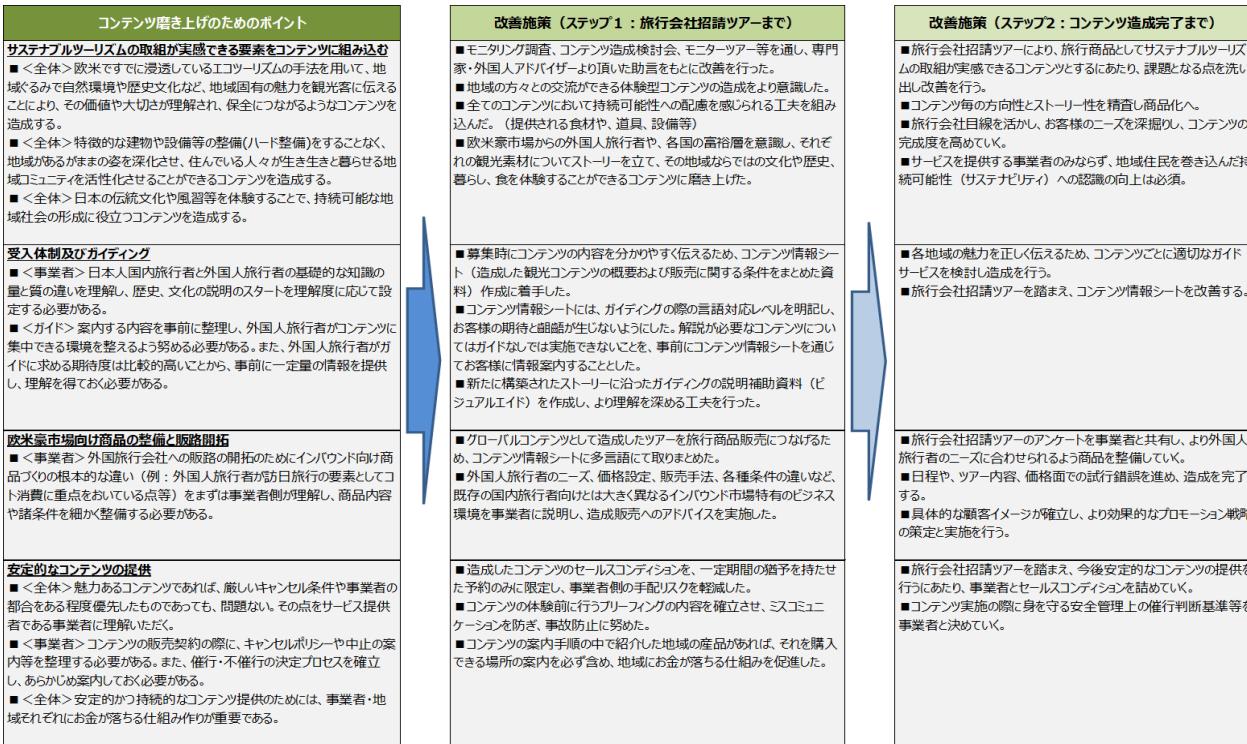


表8 コンテンツ磨き上げの経緯（共通）

② コンテンツの課題抽出と改善方策の考察

次に造成した7本のコンテンツ毎に「磨き上げのための個別課題」「改善施策」「今後の課題と改善提案」の3つの項目により考察した。

| コンテンツ プログラム名（案） | 磨き上げのための個別課題 | 改善施策 | 今後の課題と改善提案 |
|--|--|--|---|
| 1. 横山ピジターセンター（志摩、伊勢志摩国立公園の概要を広く学ぶ） | <ul style="list-style-type: none"> ■障害者のためのバリアフリーの改善を求め声もあり、山を移動するためのバスや代替交通手段を希望する。また、展望台までの経路は、お客様によっては歩行困難な方も少なくなく、今後のインフラ改善（特に交通弱者への対応）に期待。特に石段の作りが登る方にとって不親切である。 ■展望台までの道は階段が多く、自然に興味のある海外からの観光客は40歳以上の方が多く、状況を見ると高齢者には厳しい。 ■ピジターセンターで志摩市のサステナブルについてもっと情報が欲しい。 | <ul style="list-style-type: none"> ■観光駅—横山展望台間をタクシーで送迎するツアーにすることで、交通手段を確保した。 ■歩行ルートの整備については志摩市と協議し、志摩市にて検討中。 ■ピジターセンターの展示について、海女さんや真珠養殖等の紹介や後継者問題等、サステナブルなコンテンツを取り入れるよう働きかけを行った。 | <ul style="list-style-type: none"> ■インフラ改善（石段の整備など）は行政主導しているため、積極的な働きかけを行うとともに、ガイドの対応マニュアルの整備など人的サポート体制を強化する。 ■行政を主体として、高齢者や障害者向けの遊歩道の整備が求められる。 |
| 2. 小堀木工所にて伝統工芸の技術継承の現状について学ぶ（組子づくり体験） | <ul style="list-style-type: none"> ■大工の職人技は称賛に値する熟練の技であるにもかかわらず、ホストが自身の子どもたちと一緒にこの事業を続けるつもりはないと聞いてがっかり。 ■大工の技術をビデオやドキュメンタリーで紹介してほしい。活動の構成に関する指図では、まず準備過程の徹底的な説明と実演を行い、その後体験活動を行うとよい。また、職人技をより深く理解するために、展示作品を見学する。 ■体験の際、前かがみの姿勢がとても辛かった。特に背の高い人用に椅子を用意した方がよい。さらに、職人の作品を購入できる指定販売所の設置があるといい。 ■体験内容を通常のものとチャレンジもの、やさしいものなど細かく組み合わせの準備をしてあげばよい。 | <ul style="list-style-type: none"> ■サステナブルを意識した内容や後継者問題についてありのままの状態を説明するなど、説明方法についての助言を行った。また、後継者募集などのPRを積極的に行うよう働きかけた。 ■案内の流れの指図について、作業の手順を整理した。 ■体験のテーブルと椅子の高さを工夫した。 ■体験内容を見直し、レベルの違う体験コンテンツを作り、体験者の希望に応じたプログラムを検討した。 | <ul style="list-style-type: none"> ■今後も解説のブラッシュアップを行う。 ■説明の多言語化も含めて、話だけでなく組子づくりの紹介の簡単な動画（多言語対応）の作成を検討する。 ■機械等に触れないよう注意看板を設置したり、エリアを区切ったゲストの導線を工夫するなど、安全に関する設備面での対応を検討する。 ■販売所の設置については今後対応する予定である。（但し、大きい作品を購入された場合はお客様の間での配達手配も同時に整える事が必須） ■今後は高コストの少し本格的なプログラムも用意するといよ。 |
| 3. まちづくり団体「じゃまテラス」による大王崎・波切まちなるきツアー | <ul style="list-style-type: none"> ■街の賑わい創出をもう少し絡めてツアー日程に組み込む方がよい。 ■天候に左右されるため、雨天時のプログラムも検討するといよ。 ■地域の他の施設や団体等とさらなる連携が必要。 ■マネタイズの仕組みづくりができていない。どこをお金を落としてもらうか検討すべし。 | <ul style="list-style-type: none"> ■地域課題を解決するための地元のみまづくり団体の活動を知ってもらい、ゲストとホストがコミュニケーションを深めるプログラムを創出した。 ■まち歩きできない天候となった場合、じゃまテラスの拠点での説明とコミュニケーションを増やし、土産物の購入などの機会を増やすこととした。 ■今回の旅行会社招請ツアーではタイミングが合わなかったが、地元の需要小屋（かつおの天白）とコラボなど、地域の食文化と関連づけた取り組みも増やす。 ■まちづくり団体とルートの検討を行うとともに、まち歩きガイドとディスカッションについて有用化を促した。 | <ul style="list-style-type: none"> ■まち歩きとサステナブルについて、さらに考察を加えて議論を活性化するとよい。また、かつおの天白さんとのコラボなど、地域の食文化も関連づけるといよ。 ■灯台下のウッドデッキスペースでのプライベート観覧プログラムは今後の期待大。もう少し大きなスペースがあると様々な用途に利用ができ汎用性が高まる。 ■周辺地区の宿泊施設と連携し、宿泊込みのルートはPRするとよい。情報発信が重要で積極的なアピールが必要。 ■アマネム滞在のお客様に(Transfer, guide, sunset private dinner)ウツドデッキスペースでのBBQなど）をパッケージにして売付け販売しやすしい。 |
| 4. 真珠養殖の中心地として栄えた英虞湾に浮かぶ間嶋島—その歴史やその現状を学ぶ | <ul style="list-style-type: none"> ■最初に間嶋島の話を聞いて期待したが、その後はただの散歩だったのでがっかりした。外国人の観光客にとっては地域の魅力を感じられなかったと思ふ。 ■牡蠣と牡蠣の養殖については、ツアーの最初にも持続可能性に関する情報を提供してほしい。 ■鳥散策と真珠養殖のアクティビティについては、もう少し体験要素があるといよ。例えば、貝殻の洗浄を手伝ったりツアーに体験的な要素を加えてよい。 | <ul style="list-style-type: none"> ■よりサステナブルな要素を組み込むべく、まち歩きだけではなく、養殖場の見学や真珠採取体験を組み込み、間嶋島の島歩きだけではなく魅力が高まる。 ■牡蠣のライフサイクルなどについて詳細を表示したパネルを用意してもらい、詳しい説明を行った。 ■真珠養殖の体験に真珠の取り出しと、実際に味見をする体験を加えた。 | <ul style="list-style-type: none"> ■間嶋島を活用したイベントや旅行企画などを募集するといよ。 ■間嶋島の散策のガイド内容はさらにブラッシュアップする必要がある。さらにサステナブルな内容を加えたガイドアップをする必要がある。間嶋島は観光可能性が高いので、その魅力を世界に発信していきたい。 |

| コンテンツ プログラム名（案） | 磨き上げのための個別課題 | 改善施策 | 今後の課題と改善提案 |
|---|---|--|--|
| 5. 安楽人形浄瑠璃 特別貸切体験プログラム（安楽人形芝居保存会によるワークショップ） | <ul style="list-style-type: none"> ■人形劇についてはインバウンドコミュニケーションとストーリーのわかりやすさから、翻訳を続けなくても理解しやすいよう事前に簡単なあらすじや概要をしてもらいたい。 ■ツアー内容と持続可能性との関連性をより明確に理解したいので、もっと詳しく説明が欲しい。例えば志摩の人口減少が志摩そのものもそこに住む人々々に与える影響について、より詳しい洞察と未来への展望について知りたい。 ■双方方向性を持たせるために、人形遣いとの交流の中でクイズなどのアクティビティを取り入れるといい。建物の歴史的背景、人形の複雑さ、パフォーマーまで使用される背景に関する洞察などについて興味があった。 ■マネタイズの仕組みづくりが必要。 | <ul style="list-style-type: none"> ■人形劇が始まる前にガイドにあらかじめ英語で説明してもらい、人形劇の内容をイメージしてもらうようにした。 ■人形劇の歴史と風土風習や保存会が抱えている問題点についての説明も加えてもらうようお願いした。 ■劇終了後にゲストとホストの触れ合いやコミュニケーションを加えた。実際に人形を操作してもらうなど、体感型のコンテンツとした。 ■持続可能なコンテンツとするための仕組みづくりの第一歩として、保存会と相談しながら受け入れを前提とした価格設定や、条件設定を行った。 ■持続させるためには日本人・インバウンドどちらをターゲットにしても誘致は必須な中でハイシーズンだけでも、月2回程度の定期開催を試験的に始めるのもよいのではないかと（もちろん有料で）。また、手配が困難なため、特別な機会または超VIPのお客様など、高付加価値または富裕層などを対象としたコンテンツとして売り出すのが良いのではないか。 | <ul style="list-style-type: none"> ■口頭での説明だけでなく、日本語と英語でのあらすじの説明を用意する必要がある。 ■志摩市の貴重な文化的遺産だと認識していただくために、行政や住民によるサポートも必要。次世代への継続性が大きな課題。 ■音響施設の改善や、保存会の取り組み状況や、演目のあらすじを紹介する動画の整備など、観光客受け入れ環境整備の支援が必要。 |
| 6. 矢向湾に面した「うらの浜」のビーチクリーニング体験 | <ul style="list-style-type: none"> ■ビーチはすでにかなりきれいだと感じたので、もっと目に見えて汚染されている場所でのビーチクリーニングを検討するとおもしろい。このアプローチは、「グリーンウォッシュ」の印象を与えたいと思う。 ■日程の中でビーチクリーニングを組み込むため、行程上可能なビーチを選定するため、常時漂流物のあるビーチを見つける必要がある。 | <ul style="list-style-type: none"> ■あずかり浜は常時清掃しているのでビーチクリーニングの必要がない浜だった。そのため、別のビーチを選定することとした。 ■実際に漂流物が常に漂着しているうらの浜を選定し、ビーチクリーニングを実施する際の火ばさみやゴミ袋、軍手などは地域の町内会に協力を仰いだ。 ■安楽地区の周辺で灯台や神社の散策とともに訪れることができるうらの浜がビーチクリーニングに該当で選定された。また地元の協力も得ることができた。 | <ul style="list-style-type: none"> ■ビーチクリーニングアップする前に地域の汚染状況や環境保護についての話を地域の方々より頂いたらもっと体験の目標が明らかになる。ただの清掃活動ではないサステナブルなコンテンツになる。 ■ダイレクトにサステナブルにつながる活動ではあるが、観光コンテンツとしての要となる魅力付け（ゲーム性やイベント性などの要素を加味）が必要。 ■通常のコンテンツとして提供できるかどうか、地元と詳細について詰めていく必要がある。 |
| 7. 志摩で育まれた「たて藍」を体験するワークショップ @ @Rays Farm | <ul style="list-style-type: none"> ■この活動と持続可能性により強い結びつきについて説明が欲しい。例えばは地域社会との交流を強調し、地域社会がらの産業からどのような恩恵を受けているかを強調することや、このような取り組みが日本独自のものであることを紹介するのはどうだろうか。 ■天然染料に使用される現場の桶場について学んだが、アクティビティ中に別の植物や方法が使用されると、矛盾が生じる。利用される植物についてもう少し包括的に説明が欲しい。 ■ご夫婦のみでのオペレーションでは何かあった時の対応が心配。 ■二次交通がない。駐車場は足りているか。通訳、商標登録、価格設定なども課題がありそう。 ■ガイドや通訳が同席していないゲストの場合、全過程を俯瞰したビジュアルガイドが役立つ。 ■販売面について積極的にゲストにアプローチした方がよい | <ul style="list-style-type: none"> ■藍染めの歴史や日本における現状、志摩で藍染めをするストーリーを作って発信するため、幅広い視点からガイド内容を検討した。 ■植物については概要のみ説明し、混乱が生じないように体験に関する内容だけわかりやすく説明するようにした。 ■さらに藍に関する書籍を広げて、知識量を増やしていける質的にも答えられる準備をしておく必要がある。 ■ご夫婦のみでのオペレーションでは何かあった時の対応が心配なので、手伝いを含めた人員について見直しを行った。 ■マネタイズのための設備面を整えていくことについて見直しを行った。 ■二次交通の問題はすぐに対応することが困難。駐車場については敷地が狭いこととあるが、受け入れ人数も少ないため、現在のところ問題はない。 ■ビジュアルガイドについて、パネルを作成していただいた。手順等が分かりやすくなり、今何をしているのがわかりました。 ■様々な完成品について展示販売しているだけでなく、備札を付けて販売を促すよう対応していただいた。 | <ul style="list-style-type: none"> ■藍の収穫や加工において、障害者施設等と連携しているなど、地域課題にしている現状も踏まえ、さらなるガイド内容の検討を行う。 ■今後できるときから改善を行う予定。GSTCの講習を受けていただき、対応できる点を整理している。 ■商標登録については商工会議所等のアドバイスも有効か。 ■動画の見直しやパネルのリニューアルなど、分かりやすさを求めて常に更新し続けていきたい。最初のDVD、手順を記したパネルはインバウンド向けには英語だけでなく多言語対応での準備があるといよ。 |

表8 コンテンツ磨き上げの経緯（コンテンツごと）

「志摩市における観光と地域が一体となった持続可能な観光地としての価値創出事業」報告書概要版

③ 次年度以降の販売に向けた今後の課題と解決策（提案）

本事業を通じて、次年度以降のコンテンツの販売に向けたいくつかの課題を見つけることができた。以下、課題ごとの解決策（提案）について考察した。

| |
|--|
| <課題 1> 好循環の仕組みづくりの拡大 |
| <p>・志摩地域のサステナブルについて、本事業では観光収入を利用して自然環境保全のほか歴史・文化の持続性、継続性と経済性を高め、好循環させるコンテンツを開発した。しかし、志摩市全体で考えると、サステナブルの意識が十分とは言えず、その意識向上及び理解を深めるための研修や講習が求められる。その上で、循環型の仕組みを実装するためには事業者の協力が不可欠である。</p> |
| <解決策（提案）> |
| <p>・志摩市内事業者に対する継続的な事業者へのサステナブル意識の向上のための研修・講習会を実施し、サステナブルな取り組みへの理解・協力を得られるようにする。例えば、志摩市が主導して研修・講習会を開催し、サステナブルとは何か、その取り組み意義や目標を決め、活動手法や手順等、具体的なやり方について学ぶ。開催頻度は年に3～4回程度、2か年程度のプログラムを想定する。そのための資金としては、行政予算のみならず、国の助成制度を活用したり、GSTC（グローバル・サステナブル・ツーリズム協議会）の研修プログラム等も活用する。</p> <p>・コンテンツの売り上げの一部を志摩市の環境保護・保全活動に充てるといった好循環の仕組みづくりの方法についても検討する。例えば、販売価格に500円/人を上乗せし、販売主体である（一社）志摩市観光協会が責任をもって納付し、コンテンツ参加者には、募集パンフレットへの明記と、当日のブリーフィング時にも一部寄付の旨をお伝えするなどである。寄付先には、NPOなど寄付の対象となる志摩市の環境保護や保全を行う団体が望ましいが、適当な団体が無い場合、一例として日本財団「海と日本PROJECT」を候補とする。</p> |

| |
|---|
| <課題 2> ガイドやコーディネーター等の人材発掘、育成 |
| <p>・造成されたコンテンツの魅力やサステナブルについて旅行者の理解を増進させ、そのポテンシャルを引き出すためには、ガイドの知識や能力を向上させる必要がある。事業者によるガイダンスには限界もあり、サステナブルを専門としたガイドの育成が重要である。志摩地域には、まだまだサステナブルに関するガイドができる人材が不足しており、人材の発掘と育成が急務となっている。</p> |
| <解決策（提案）> |
| <p>・本事業で造成されたコンテンツは一朝一夕に構築できるものではないため、今後も継続的な更なる磨き上げが必要である。そして、コンテンツの魅力を伝えるためにはガイドやコーディネーター等の存在が非常に大きい。そこで、地元で宿泊施設や観光業に携わっている方、NPO活動を行っている方々を集め、志摩市が中心となってサステナブル研修・講習会を開催することで、地域に埋もれている優秀な人材の発掘を行う。さらに、その研修生を育成していくカリキュラムを設計する。また、地域に見出せなくても、他地域から移住してくる人材を獲得していくことも検討していく必要がある。</p> |

| |
|--|
| <課題 3> コンテンツ運営・提供（販売）・管理に関わる組織づくり |
| <p>・サステナブルなコンテンツを一括してPRし、旅行会社だけでなく個人からの問い合わせや予約・受付を行い、提供（販売）と管理を行う組織と体制づくりが求められる。サステナブルな観光コンテンツを志摩地域の魅力としてPRし、訪日外国人のみならず、国内観光客へも訴求できるコンテンツとして育てていくことも必要である。組織づくりを行うための検討会や協議会の創設が必要となっている。</p> |
| <解決策（提案）> |
| <p>・本事業は単年度事業であったため、時間的制約もあり、コンテンツの販売・管理について担当する組織や仕組みまで構成することが難しかった。また、既存の組織が新たにサステナブルな取組を推進することについては、地域の了解と行政の政策判断もあり、短期間に構築することが困難であった。今後は、行政や事業者等が地域一体となって、コンテンツの運営・提供（販売）・管理に関わる組織づくりのための検討を重ねていくことが重要である。そのためには、志摩市の「観光振興計画(仮)」を策定し、計画の中にサステナブル・テーマを明確に位置付け、順次、継続的に施策を展開するとともに、この計画に基づいた組織づくりを模索・検討していくことが考えられる。既存の組織では作業量的に難しい場合は、新たな組織づくりも含めた検討も必要である。</p> |

④ 三重県志摩市における持続可能な観光の推進、旅行者の更なる滞在及び消費拡大に向けた方策

| |
|---|
| （方策 1）観光振興計画の策定 |
| <p>・本事業で造成されたコンテンツは、志摩市を観光する1つのきっかけとなるものであり、志摩市の既存の観光資源と連携した総合的な取り組みの一部を構成するものである。しかし、志摩市の観光施策をみると、第2次志摩市総合計画 後期基本計画（2021年度～2025年度）のなかに「3.産業が元気なまちづくり」「3-4 観光産業の振興」として位置づけられているが、下位計画としての観光振興計画は存在していない。志摩市が積極的に観光振興を目指すためには、観光ビジョンの策定と複数年に渡った計画が不可欠である。</p> <p>・観光振興計画の策定を契機として、本事業で造成されたサステナブルコンテンツをはじめとした、志摩市の観光資源を洗い出し、志摩市のこれまでの観光事業を総括することで、今後、市として実施すべき指針が定まり、複数年にわたる着実な施策の展開につなげることができる。事業の継続性を確保し、着実な観光施策を展開していくことで、数年後の志摩市の観光が地域に大きな経済波及効果をもたらし、国内外の観光客の満足度を高め、さらには住民の誇り（シビックプライド）を醸成することができる。本事業を契機として、志摩市の体系的・総合的な観光施策の展開が期待される。</p> |
| （方策 2）関係者・住民のサステナブル意識を醸成する |
| <p>・観光分野においてもサステナブルが求められているなかで、先進的な取り組みを行っている地域は、全国的に見てもまだまだ少ない。国内ではサステナブルに関する理解があまり広まっておらず、既存のホテル・旅館や観光施設・飲食事業者等の観光事業者等においても、サステナブルを十分に理解したうえで事業を進めている事業者は少ない。</p> <p>・サステナブルな取組を推進するためには、志摩地域全体がサステナブルの理解を深め、自分事として捉えることが重要である。そのためには、行政が主導して継続的なサステナブルに関する研修会や講演会を実施し、事業者等の意識を高めることによって、地域全体がサステナブルの意識をもって観光事業等にあたる必要がある。</p> |
| （方策 3）サステナブルコンテンツの造成支援 |
| <p>・本事業で造成されたコンテンツはまだまだ少ない。造成されるコンテンツ目標としては、100を目指して取り組むことも必要であろう。そのためには、方策 2 によってサステナブル意識が醸成された事業者がサステナブルコンテンツの造成に取り組む際に、市としての様々な支援を行う必要がある。資金的な支援はもとより、サステナブルに詳しい専門家を認定して、サステナブルツーリズムアドバイザー（STA）として派遣し、コンテンツ造成にあたってアドバイスや支援を行うことも考えられる。</p> |
| （方策 4）サステナブルポイント（基金）の創設 |
| <p>・本事業では、日本財団の環境保全活動への寄付を提案として挙げているが、将来的には志摩市独自のサステナブル基金を創設することも考えられる。サステナブルツーリズムの実施によって、観光客から預かった資金をサステナブルポイント（基金）として貯めて、志摩市のサステナブル観光の施策に活用していく。これにより、循環型のサステナブルな環境保全や持続可能な観光地域の整備に回すことができる。</p> |
| （方策 5）運営体制の整備（組織づくり） |
| <p>・今回の事業で造成されたサステナブルコンテンツを管理・運営し、仕組みとして回していくためには、運営体制の整備（組織づくり）が不可欠である。既存のDMOである観光協会等の組織の活用もあるが、地域の観光資源の活用による地方創生を目的とした各機関と連携し、DMC（Destination Management Company）といった、経営・資源開発を行う地域特化型の組織の創設も検討に値する。第2次志摩市総合計画後期基本計画（2021年度策定）においてもDMO（観光地域づくり法人）・DMC（観光地経営会社）の創設が挙げられており、サステナブル観光を実現するためにも検討していくべき事項であろう。</p> <p>・また、サステナブル観光に関わる関係者から構成する「サステナブル協議会(仮)」を設置し、志摩市全体で考えて行動していくことも必要であろう。</p> |
| （方策 6）サステナブルコンテンツ送迎支援 |
| <p>・造成されたサステナブルコンテンツまでのアクセスとして、公共交通の利用を検討してきたが、観光客の足を確保する二次交通の問題も重なり、効果的な公共交通体系を模索することは非常に難しい。そこで、サステナブルコンテンツに限定し、観光客を送迎するためのだけのデマンド交通システム（サステナブルコンテンツの予約・申し込みの際に送迎の可否を選択）を構築することが望ましい。500円タクシー等の取り組みを通じて得られたノウハウを活用し、個別・低額な送迎手段を検討するとともに、方策 4 の基金を活用しながら、方策 5 のDMOや協議会で運用していくことが求められる。</p> |
| （方策 7）広報・PR支援 |
| <p>・志摩市で造成されたサステナブルコンテンツを広く発信するためには、市を主体とした組織的な広報PRの取り組みが欠かせない。また、国内外に売り込むための販売プロモーションについても事業者等に対する市の積極的な支援が望まれる。これは既存の事業等を活用して実施するほか、方策 5 のDMOやDMCの役割として活動を支援することも考えられる。事業者にとっても、サステナブルに取り組む動機付けとなるとともに、観光客が志摩市のサステナブルを支えるという仕組みによって、志摩市の循環型の観光システムが促進される。</p> |